

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 実践知能アプリケーション構築フレームワーク PRINTEPS の開発と社会実践

2. 研究代表者： 山口 高平（慶應義塾大学理工学部 教授）

3. 中間評価結果

サービス業務に応じたサービス・プログラムをソフトウェアモジュール群から自動生成できる「実践知能アプリケーション構築プラットフォーム PRINTEPS」を設計実装し、喫茶サービスロボットと授業支援ロボットの事例に適用して、知識ベース推論、音声対話、画像センシング、動作モジュール間の相互運用性が示され、研究は順調に進んでいる。実際の店員や教師がこれまで行ってきた業務フローに沿って、ロボットサービスのサービスフローを開発できるように、ユーザの立場を重視した設計を導入した点を高く評価する。知識ベース推論、音声対話、画像センシング、ロボティクス分野で国際的水準の高い論文、国際会議に発表されており、学術的に十分なレベルに達している。PRINTEPS は汎用のロボットサービスを視野にいれているため、現時点でも農業分野、道路交通分野、産業ロボット分野からも興味を持たれ、今後、他の分野への波及効果も期待できる。その普及には、ソフトウェアモジュール群を逐次追加していける相互運用性と規模性に留意して、他の適用分野への再利用が可能になる研究開発が必要になる。他分野への拡大を意識したワークショップ開催、ネットワーク創りなども重要であり、研究代表者のリーダーシップの下で戦略的・計画的なマネジメントを期待する。